



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社

上場取引所 東

コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 小佐野 台

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務グループマネージャー (氏名) 高山 佳久

TEL 03-5379-4141

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,005	15.7	1,310	22.6	1,338	21.9	724	2.5
2022年3月期第1四半期	27,651	13.7	1,068	98.3	1,098	106.2	707	136.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 978百万円 (12.1%) 2022年3月期第1四半期 873百万円 (290.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.27	
2022年3月期第1四半期	11.00	

(注) 当社は、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	64,740	40,175	60.8	612.14
2022年3月期	64,217	39,995	61.1	609.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 39,368百万円 2022年3月期 39,209百万円

(注) 当社は、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		12.00	
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,800	8.9	7,440	5.1	7,560	5.4	5,000	4.8	77.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	64,320,000 株	2022年3月期	64,320,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	7,352 株	2022年3月期	7,352 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	64,312,648 株	2022年3月期1Q	64,312,648 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)当社は、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第1四半期	前年同四半期	前期比
売上高	32,005	27,651	15.7%
営業利益	1,310	1,068	22.6%
経常利益	1,338	1,098	21.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	724	707	2.5%

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策を講じることによって経済・社会活動の正常化が進み、景気を持ち直しの動きがみられているものの、感染再拡大への予断を許さない状況であり、原材料価格の上昇、金融資本市場の変動、ウクライナ情勢の長期化等の影響で、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、各管理事業の管理ストック拡充に注力するとともに、大規模修繕工事を中心とする各種工事の実施に積極的に取り組みました。また、期初より新たにグループ化した株式会社NHファシリティーズとの協業により、シナジーの強化にも取り組みました。

その結果、売上高は32,005百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は1,310百万円（前年同期比22.6%増）、経常利益は1,338百万円（前年同期比21.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は724百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第1四半期	前年同四半期	前期比	当第1四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	14,023	13,322	5.3%	1,169	990	18.1%
ビル管理事業	3,922	2,369	65.6%	41	125	△67.2%
不動産管理事業	1,522	1,506	1.1%	183	172	6.3%
営繕工事業	12,537	10,453	19.9%	735	478	53.5%
消去又は全社	—	—	—	△819	△699	—
合計	32,005	27,651	15.7%	1,310	1,068	22.6%

① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、当社において、前連結会計年度に受託した物件が計画通りに稼働したことに加え、管理ストックから派生する周辺事業が好調に推移したことが売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は14,023百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は1,169百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、国内子会社である山京ビルマネジメント株式会社において、不動産売上が好調に推移したことが売上高及び利益に寄与いたしました。また、新たにグループ化した株式会社NHファシリティーズにおいても売上高に寄与したものの、当社における大型物件の解約の影響等で、利益については減少となりました。

その結果、売上高は3,922百万円（前年同期比65.6%増）、営業利益は41百万円（前年同期比67.2%減）となりました。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、買取再販及び管理ストックから派生する周辺事業が好調に推移したことが売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は1,522百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は183百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、当社において、大規模修繕工事・一般営繕工事・保守ともに堅調に推移したことに加え、国内子会社において、経済活動の制限緩和等に伴い工事の進捗が好調に推移したことが売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は12,537百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は735百万円（前年同期比53.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第1四半期末	2022年3月期	増減
資 産	64,740	64,217	522
負 債	24,564	24,222	342
純 資 産	40,175	39,995	180
うち自己資本	39,368	39,209	159
期末有利子負債	3,240	3,057	182
自己資本比率(%)	60.8	61.1	△0.2

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ522百万円増加し、64,740百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少4,566百万円、建物及び構築物の増加1,019百万円、土地の増加2,470百万円、のれんの増加797百万円、投資有価証券の増加332百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ342百万円増加し、24,564百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,370百万円、その他流動負債の増加1,444百万円、退職給付に係る負債の増加557百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、40,175百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加724百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少771百万円、為替換算調整勘定の増加207百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,157	14,591
受取手形、売掛金及び契約資産	21,092	20,653
未成工事支出金	90	248
原材料及び貯蔵品	180	281
その他	1,226	1,295
貸倒引当金	△40	△29
流動資産合計	41,707	37,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,546	5,565
機械装置及び運搬具(純額)	58	141
工具、器具及び備品(純額)	501	648
土地	11,929	14,400
建設仮勘定	1	17
有形固定資産合計	17,037	20,773
無形固定資産		
のれん	615	1,412
その他	1,296	1,325
無形固定資産合計	1,911	2,737
投資その他の資産		
投資有価証券	187	519
関係会社株式	183	188
差入保証金	1,121	1,345
退職給付に係る資産	276	307
繰延税金資産	933	949
その他	1,069	1,097
貸倒引当金	△210	△220
投資その他の資産合計	3,560	4,188
固定資産合計	22,509	27,699
資産合計	64,217	64,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,806	8,435
短期借入金	3,039	3,229
1年内返済予定の長期借入金	18	10
未払法人税等	1,447	691
未払費用	2,586	2,897
賞与引当金	1,902	918
工事損失引当金	0	0
その他	3,969	5,414
流動負債合計	22,770	21,597
固定負債		
退職給付に係る負債	477	1,034
繰延税金負債	121	422
その他	852	1,509
固定負債合計	1,451	2,966
負債合計	24,222	24,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	1,871	1,871
利益剰余金	34,730	34,683
自己株式	△2	△2
株主資本合計	39,093	39,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	24
為替換算調整勘定	64	271
退職給付に係る調整累計額	27	25
その他の包括利益累計額合計	115	322
非支配株主持分	786	807
純資産合計	39,995	40,175
負債純資産合計	64,217	64,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	27,651	32,005
売上原価	20,986	24,648
売上総利益	6,664	7,356
販売費及び一般管理費	5,595	6,046
営業利益	1,068	1,310
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	2	5
助成金収入	21	10
その他	24	24
営業外収益合計	52	46
営業外費用		
支払利息	14	10
和解金	—	4
その他	7	3
営業外費用合計	22	17
経常利益	1,098	1,338
税金等調整前四半期純利益	1,098	1,338
法人税等	381	574
四半期純利益	717	764
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	707	724

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	717	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
為替換算調整勘定	157	215
退職給付に係る調整額	0	△1
その他の包括利益合計	156	214
四半期包括利益	873	978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	852	930
非支配株主に係る四半期包括利益	20	48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	147	1	262	4,698	5,110	—	5,110
一定の期間にわたり移転される財	13,174	2,367	743	5,720	22,007	—	22,007
顧客との契約から生じる収益	13,322	2,369	1,006	10,419	27,117	—	27,117
その他の収益	—	—	499	34	533	—	533
外部顧客への売上高	13,322	2,369	1,506	10,453	27,651	—	27,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	4	67	31	126	△126	—
計	13,345	2,373	1,573	10,484	27,777	△126	27,651
セグメント利益	990	125	172	478	1,767	△699	1,068

(注) 1. セグメント利益の調整額△699百万円は、セグメント間取引消去1百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△700百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	186	939	336	4,934	6,396	—	6,396
一定の期間にわたり移転される財	13,836	2,867	698	7,592	24,994	—	24,994
顧客との契約から生じる収益	14,023	3,806	1,035	12,526	31,390	—	31,390
その他の収益	—	116	487	11	614	—	614
外部顧客への売上高	14,023	3,922	1,522	12,537	32,005	—	32,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	4	66	36	111	△111	—
計	14,027	3,926	1,589	12,573	32,116	△111	32,005
セグメント利益	1,169	41	183	735	2,129	△819	1,310

(注) 1. セグメント利益の調整額△819百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社NHファシリティーズの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ビル管理事業において7,475百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

ビル管理事業において、株式会社NHファシリティーズの株式を当第1四半期連結会計期間に取得したことにより、のれんが863百万円増加しました。